



写真8 金属製品と黒曜石



写真9 陶質土器



写真10 遺物密集地



写真11 遺物密集地から南西を見る



写真12 ドローンによる遺跡写真 鬼ガ崎（手前）と鬼ガ浦

③ ツツミゼ

鬼ガ崎遺跡の南端に位置するのがツツミゼである。山林と砂岩の絶壁の境に貝塚と（写真13、14）と須恵器（写真15-1）、陶器（写真15-2、3）、金属製品（写真15-4、5）が出土している。貝塚付近は板石が敷かれているように見え、祭祀遺跡の可能性もある。山林内は段々畑跡が広がり遺構・遺物ともに確認できないが、海砂利や拳大から人頭大の海石が見られるので遺跡が見つかる可能性はある。

・遺構と出土遺物



写真13 ツツミゼの遺構①



写真14 ツツミゼの遺構②



写真15 ツツミゼの遺物

「鬼ガ崎遺跡」は鬼ガ崎・鬼ガ浦・ツツミゼの3カ所で遺構や遺物が見られる。ここは朝鮮半島に最も近く陶質土器などの搬入品が含まれる。岬上で多数の黒曜石鏃・剥片・碎片が見られるのは、海獣や大型魚類回遊の見張りをしながら黒曜石製石器を作っていたのではと考えている。また、岬先端付近数カ所にある赤い礫の石積みの解明が楽しみである。東にある^{やびつ}矢櫃では白磁が採集されている。

・新規発見遺跡番号4「シレンナー遺跡」

「シレンナー遺跡」は上対馬町豊の北東海岸に所在する。近くに弥生・古墳時代の「豊上在所遺跡」がある。踏査時に「シレンナー遺跡」の前を何度も通っていたのだが全く気付かなかった。釣りへ行く途中、海岸で休憩したときに崖面に土器のようなものが見えた。よく見ると間違いなく土器である。スカスカのクッキー状を呈するもの、締まって硬そうなものが多数確認できた。帰宅後すぐに娘を連れ出し確認に行くと、崖面と崩落土、砂利浜で黒曜石を見つけることが出来た。目標にしていた縄文時代の遺跡発見である。位置情報を記録し写真を撮り帰宅。すぐに対馬市文化財課へ報告、登録前の調査にも同行し縄文中期以降の「シレンナー遺跡」として登録された（写真16）。この遺跡はすでに調査員の阿比留伴次氏も確認されていたことを後日知った。

長崎菜々子が立っている地点の土層（写真17）は、表土－第Ⅰ層：小礫を含む赤色土－第Ⅱ層：円礫・角礫を含む黒色土－第Ⅲ層：円礫・角礫・小礫を含む赤色土（遺物包含層）－第Ⅳ層：角礫・円

礫を含む褐色土（遺物包含層）である。IV層から下は崩落土砂で埋まり確認できないが下部層があると思われる、これからの調査が待たれる。縄文中期以降の遺跡として登録されているが、土器周辺から採集した炭化物の放射線炭素年代測定をパリノサーヴェイ株式会社に依頼したところ、4300年から4100年前の結果を得た。また、同時に遺跡下の堆積土・海岸で採集した石器鑑定を行った結果、硬質のホルンフェルスを主体とし、硬質の泥岩（頁岩）を伴うものであった。ホルンフェルスは遺跡周辺では見られない岩石で、産出する下島から持ち込まれたものと思われる。

令和2年1月1日（2020）恒例となっている著者二人の元旦踏査において、土器包含層より上部（地表から60㌘）のI層崖面で土器片を採集した（写真18、19 図4）。この土器は縄文前期の曾畑式土器であることがわかった。



写真16 北から見た「シレンナー遺跡」



写真17 「シレンナー遺跡」の土層

・「シレンナー遺跡」の遺物

遺物は海岸部の崖面と砂利浜にあり、遺跡範囲は東西90mに及び、南に二つの平坦地が背後の山まで広がっている。東側の平坦地を調査したが、土砂の堆積があり遺物は確認できなかった。東は急斜面の山が迫り段々畑は見られない。西は緩斜面の小高い山林となっており、遺跡の近くまで段々畑が広がっている。山林内の北側断崖近くで安山岩（サヌカイト）製石器（写真20）・黒曜石剥片を採集しており、遺跡はここまで広がりそうである。前述した曾畑式土器は第三層・第四層の包含層より上の第I層（黒色土の直上）で採集していることから、西側山林にあった遺跡より落ちたものとみている。また、崖面から1.5m南側表土上で摩耗していないサヌカイト製石器を採集しており（写真21）、曾畑式土器同様、西側の山林から落ちたものと考えている。周辺でも曾畑式土器が見つければ縄文前期の遺跡となる。敲石（写真22）、クッキー状の土器（写真23）、焼きが硬い土器（写真24）。

「シレンナー遺跡」は縄文中期以降の遺跡と位置づけられていたが、遺跡崖面において表面採集した土器は縄文前期の「曾畑式土器」と判明した（水ノ江 2022）。対馬北西部に位置する朝鮮半島系の土器と炉址が見つかった「越高遺跡」（表1-9）、仁田湾を挟んで対岸にある朝鮮半島系の土器が出土する「夫婦石遺跡」（表1-10）と同じ時代である。

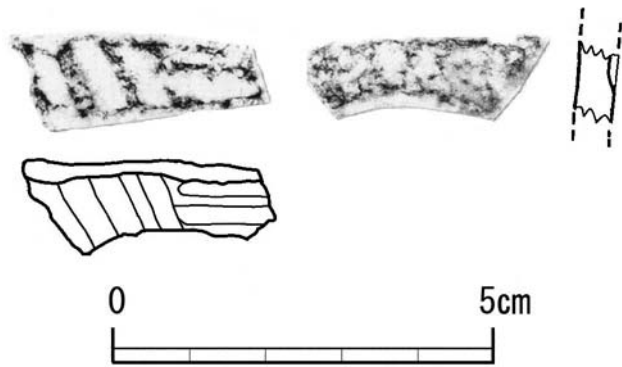


図4 実測図と拓本（S = 1 / 1）



写真18 曾畑式土器表採時の様子



写真19 曾畑式土器



写真20 サヌカイト製石器



写真21 サヌカイト製石器



写真22 砂岩製敲石